

平成 29 年 1 月 18 日

株式会社常陽銀行

「TMニッポン再生可能エネルギーファンド 2017 投資事業有限責任組合」 の組成について

株式会社常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、株式会社十六銀行（頭取 村瀬 幸雄）、株式会社南都銀行（頭取 橋本 隆史）および株式会社山口銀行（頭取 吉村 猛）との共同出資により、「TMニッポン再生可能エネルギーファンド 2017 投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」という）を組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、平成 27 年 12 月に設立した「地域インフラ推進協議会」*における、再生可能エネルギーなど地域経済の活性化に資するインフラ投資促進に関する取り組みの一環として、組成したものです。

当行は、今後とも再生可能エネルギー関連分野をはじめ地域資源の有効活用を通じ、地域経済の発展に貢献してまいります。

※地域インフラ推進協議会…後記参照

記

1. ファンド設立日

1 月 18 日（水）

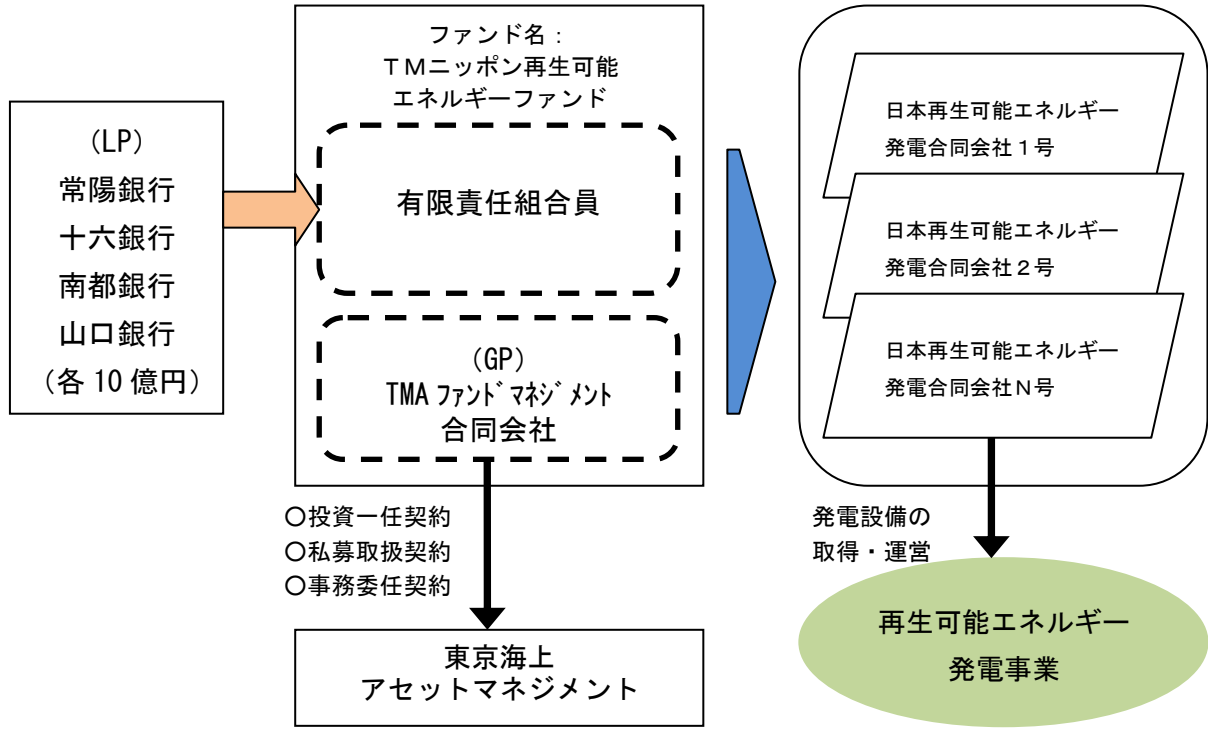
2. ファンド概要

名 称	TM ニッポン再生可能エネルギーファンド 2017 投資事業有限責任組合
投 資 対 象	国内の再生可能エネルギー発電事業（太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱等）を裏付資産とする匿名組合出資持分等。
ファンド規模	40 億円
存 続 期 間	約 26 年間（最大 3 年間延長あり）
組 合 員 構 成	㈱常陽銀行、㈱十六銀行、㈱南都銀行、㈱山口銀行
業務運営（GP）	TMAファンドアセットマネジメント合同会社
投 資 顧 問	東京海上アセットマネジメント㈱

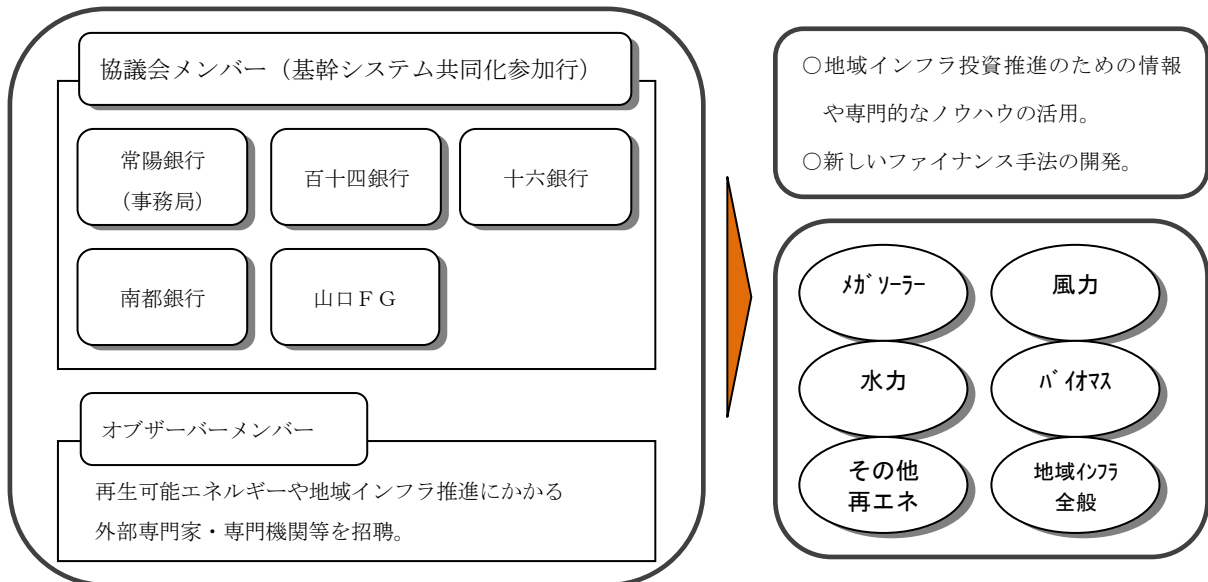
以 上



○「TMニッポン再生可能エネルギーファンド」スキーム図



(ご参考) 地域インフラ推進協議会の概要と目的



- 基幹システム共同化行間において、再生可能エネルギーなど地域経済の活性化に資するインフラ投資にかかる情報の共有とノウハウの蓄積を図る。
- 再生可能エネルギーを中心としたインフラ投資を推進し、地域資源の活用や雇用促進等の活性化を図る。
- 地域インフラ投資推進のため、新しいファイナンス手法の開発を図る。